

第20回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成20年2月

応募者名：青森県中南地域県民局地域整備部

事業の名称：3・3・3号 下白銀町福村線道路改築事業

実施都市名：青森県 弘前市

事業の目的

本路線は、弘前駅東西地域を結ぶ主要幹線道路であり、通勤・通学や地域経済を担う重要な路線である。駅東側では急速な宅地化や郊外型市街地が形成されており、すでに国道7号および地域高規格道路(弘前黒石IC連絡道路)である国道102号は4車線化されており、円滑な自動車交通や地域住民の安全に大きく貢献している。しかし、本路線の現道は狭幅員で、特にJR奥羽線を地下で横断する区間(和徳ガード)は急勾配にもなっており、冬期になると深刻な交通渋滞とともに交通安全上極めて危険な状況となっていた。本路線の整備は、駅東西地域の連絡強化および都市内交通の円滑化を図るとともに、JRアンダー部の狭幅員・急勾配の解消は、地域住民生活の安全・安心を確保するものである。

事業概要

事業名: 3・3・3号 下白銀町福村線道路改築事業

路線名: 3・3・3号 下白銀町福村線

事業箇所: 青森県弘前市大字和徳町～松ヶ枝五丁目地内

事業延長: 765m

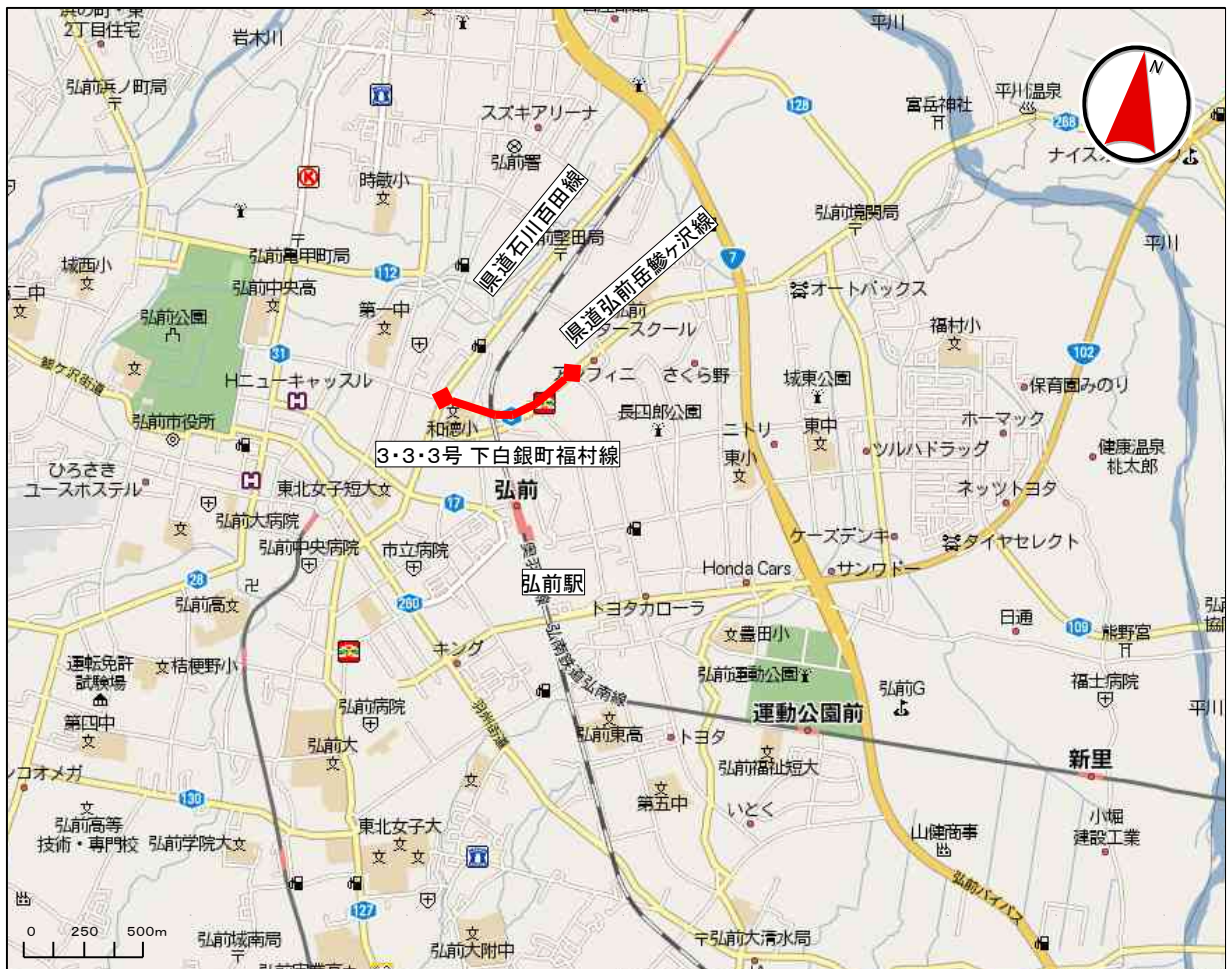
幅員: 22m(4車線)

総事業費: 約118億円

事業期間: 平成2年11月～平成19年3月

本事業は、道路改良工L=765m、4車線(うちU型・逆T型擁壁工L=390.5m)、またJR奥羽本線を供用させながらのフロンテジャッキング工法によるこ道橋(みのりのトンネル)L=66.5m、さらに歩道部には空気熱源ヒートポンプ方式による融雪装置(両側)を整備し、慢性的な渋滞の解消と安心・安全な道路整備を行った。

事業位置図



全体図(平面図・側面図・横断面図)

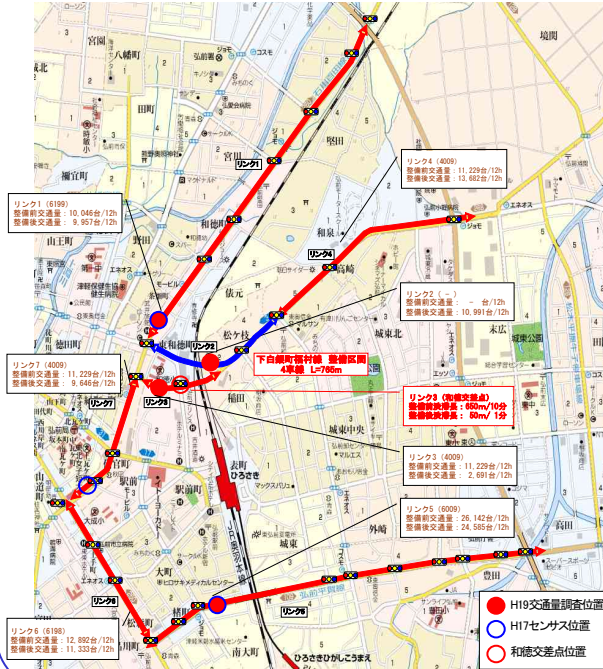


3・3・3号 下白銀町福村線の整備効果アピール資料

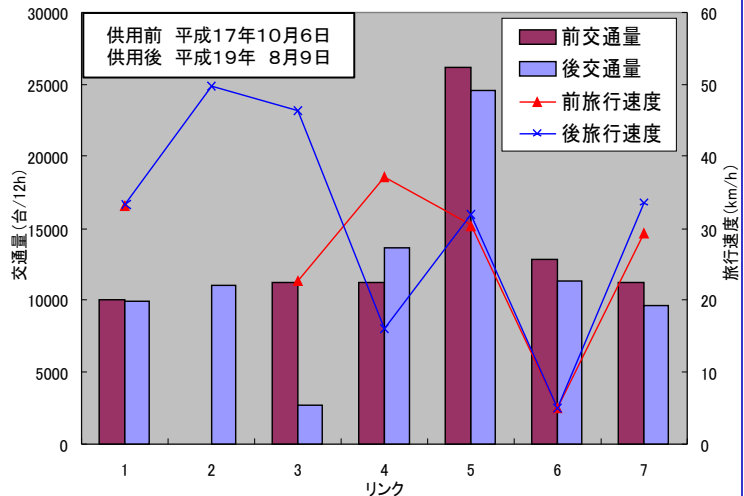
○事業概要

事業名: 3・3・3号 下白銀町福村線道路改築事業
 路線名: 3・3・3号 下白銀町福村線
 事業箇所: 青森県弘前市大字和徳町～松ヶ枝五丁目地内
 事業延長: 765m 幅員: 22m(4車線)
 総事業費: 約118億円 事業期間: H2～H18年度

○交通量調査結果



交通量と旅行速度の変化



リンク別交通量(台/12h)							
リンク	1	2	3	4	5	6	7
整備前	10,046	11,229	11,229	26,142	12,892	11,229	
整備後	9,957	10,991	2,691	13,682	24,585	11,332	9,646

○市中心部へのアクセス向上

市中心部(土手町)への10分到達エリアの拡大

H16現況値 23.6%



H19①～④整備値 29.7%
 うち①供用により0.7%拡大

市街化区域

- ①下白銀町福村線・・・20ha
- ②弘前黒石線・・・48ha
- ③下白銀町亀の甲町線・・・48ha
- ④安原第二地区(区画整理)・・・48ha

※算定式＝市中心部(土手町)への10分到達エリア面積／市街化区域面積

○人と環境に優しいまちづくり

- ・ヒートポンプ式融雪装置(歩道両側)
 化石燃料を使用しない
 消費電力が少ない

⇒ Co₂を削減し歩行者の安全・安心確保

- ・排水性舗装(車道部)の設置
 視認性向上
 ハイドロ現象の緩和
 騒音の低減

⇒ 車両の安全性向上と周辺環境へ配慮

「整備効果」

○和徳交差点の渋滞が完全に解消

- ・リンク3 11,229台→2,691台
- ・最大渋滞長650m→50m
- ・最大通過時間10分→1分

○道路勾配を緩和

- ・最急勾配7%→4%

○市中心部へのアクセス向上

- ・23.6%(H16)→29.7%(H19)



事業前

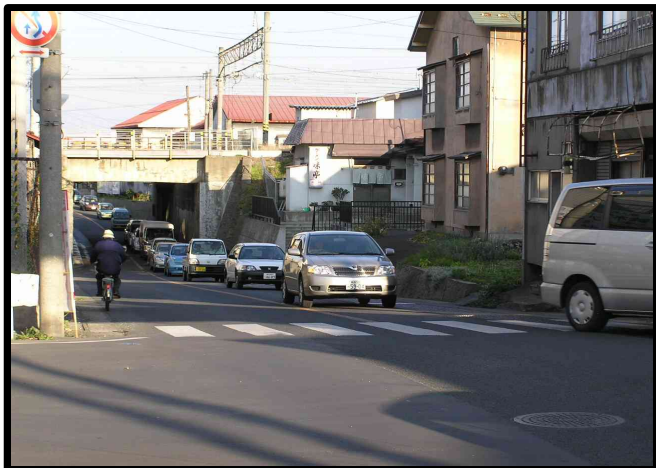


事業後

平成17年4月撮影



平成17年4月撮影



平成17年4月撮影



平成18年11月撮影



平成18年11月撮影



平成20年2月撮影

